

2021年度児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年2月1日

事業所名：ディスカバリースタジオ

	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価			
			はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	療育内容の質を保つためにできる限り10名程度にしています。また感染症対策として密にならないよう分散して行っています。	22		3	感染対策の視点からも今後も密を避けて十分な療育スペースを確保していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	指定基準以上の人員は配置しており保育士だけでなく教員資格者も配置しております。	19		5	今後も発達障がい等の研修を継続して、専門性の向上に努めてまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	事業所内は段差がなく、車椅子でも利用可能となっております。また、視覚支援としてその日のスケジュールの掲示などをさせて頂いています。	16		9	部屋の構造上死角になる部屋がありますが、クールダウンと学習をする時のみ出入りが出来るようにしております。
	4 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	毎日の療育後に送迎車及び事業所の消毒の徹底と清掃、最新の空気清浄機の導入をしています。	24		1	今後も清潔な環境を保つよう継続してまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	事業所内、事業所間での定例ミーティングで業務改善の報告検討をしています。	/			今後も継続してまいります。
	6 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価の実施と、それに基づく改善点を事業所全体で共有し課題の改善を行っています。				今後も継続してまいります。
	7 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	個人で研修に参加した場合は伝達研修も行ってあります。また定期的に障がい特性に関する研修なども計画して行っております。				今後も継続してまいります。
適切な支援の提供	8 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	利用開始時に聞き取りをさせていただき相談支援事業所のサービス利用計画に基づく計画を作成しています。	22		2	モニタリングの際には保護者様のご意見を取り入れて個別支援計画を作成、修正しております。その上でニーズに合ったプログラムをご案内してまいります。
	9 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	幅広い年齢層の中で毎週違う内容で実施するよう新しいプログラム内容を計画し実施しています。半期に一度内容、時間帯を見直しております。	19		5	1. 4月以降に中高生が参加しやすい時間帯を増やす予定です。
	10 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在行っておりません。	4		12	9 感染状況を鑑み、支援に必要なことがありましたら実施していきます。
	11 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で必要な支援内容が適切に設定されているか	様式や文言の見直しを行い、より具体的な支援内容が書けるようになるよう順次変更しております。	23		1	1 今後も継続してまいります。
	12 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	週ミーティングで個別支援計画の見直しが必要か検討したりそれにあつた支援ができないか話し合いをしています。	22		3	今後も継続してまいります。
	13 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日職員間でミーティングを行い活動内容と役割分担について確認しています。	/			今後も継続してまいります。
	14 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	緊急時は療育終了後に共有を行い振り返りは次の日全員が揃った時点でっております。				今後も継続してまいります。
	15 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日その日のうちに記録をしています。またミーティングにて支援について検討し、見直しをしております。				今後も継続してまいります。
	16 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年毎に時期が来たら計画の見直しを行っております。				今後も継続してまいります。
	保護者への説明等	17 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	利用開始時に一通り説明させて頂いております。	21		3
18 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか		システムにて共有や送迎時のお声掛け、当日の様子を写真で伝えさせて頂いております。	19		5	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37
19 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		個別にご相談いただいた内容に基づき、必要に応じて可能な限りさせて頂いております。	19		4	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37
20 父母会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		今年度は感染症予防に留意しつつ12月に6年生のお子様を持つ保護者様の悩み相談会という名目で相談や悩み共有を行いました。	8		13	4 感染状況を鑑み、実施できるようにしてまいります。
21 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		保護者様に頂いたご意見につきましては迅速にミーティングで共有し、可能な限り対応、改善させて頂いております。	17		7	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37
22 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか		療育内容については当日にシステムで情報伝達しております。個別の相談や緊急事項などは電話やLINEも併用しております。	23		1	1 今後も継続してまいります。
23 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか		毎月の事業所ニュースの発行や、SNSにて情報を発信させて頂いております。	24		1	今後も継続してまいります。
24 個人情報に十分注意しているか	職員間でも情報の取り扱いについては厳しく管理しており外部に持ち出さないようにしております。また、写真についても契約時に利用の範囲を確認しております。	22		3	今後も継続してまいります。	
関係機関との連携	25 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	必要に応じて参加しています。	/			今後も継続してまいります。
	26 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小・学）等との間で支援内容等の十分な情報共有	必要になった場合に実施しています。				今後も継続してまいります。
	27 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在該当者がいません。				事例が出た場合は、情報提供を迅速かつ正確に行います。
	28 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて連携しており、研修にも参加しております。				今後も継続してまいります。
	29 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	事業所が活動するフィールドが郊外にあり当該の地域住民の方との交流を心がけています。				今後も継続してまいります。
非常時等の対応	30 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	各種マニュアルを作成させて頂いておりますが、まだ周知が徹底できていない部分があります。	16		7	2 来年度中に各種マニュアルを公開できる形に整え、ホームページやシステムで周知できるようにしてまいります。
	31 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	今年度は地元の消防署に協力して頂き水消火器や避難訓練を行うなどの訓練を行いました。	20		5	今後も継続してまいります。
	32 虐待を防止するための職員研修等の適切な対応	伝達研修などを用いて社内にて定期的実施しております。	/			今後も継続してまいります。
	33 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約書に記載しており、契約時にも説明を行っております。事実があった場合は速やかに保護者へ説明を行っております。				今後も継続してまいります。
	34 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーを持っているかどうか利用開始時に聞き取りを行い、システムによりアレルギーのあるお子様が利用の日には見逃さないよう表示されるようになっております。				今後も継続してまいります。
	35 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例が出た時点で作成し、迅速に社内全体で共有し、改善及び防止策を検討しております。				今後も継続してまいります。
満足度	36 子どもは通所を楽しみにしているか	毎月子どもたちの状況や季節、フィールドが活かせるようなプログラムをチーム全体で計画し、お子様が楽しめるプログラムを提供するよう努めてまいります。	21		3	1 定期的なプログラム内容や時間帯を見直し、ご利用者のニーズに合ったプログラムが実施できるように努めてまいります。
	37 事業所の支援に満足しているか	感染症対策下でも療育が中断することがないようにオンライン療育も実施しました。また休日だからこそ楽しめるプログラムも職員間で話し合い決めています。	23		1	1 今後も職員研修を充実させ、専門性の向上に努め支援の質を向上させてまいります。